

からむしを績む

からむしは苧麻(ちよま)、イト、苧(お)などと呼ばれる、衣生活に欠かせない大切な植物素材でした。この講座では、昔の方法でからむしから繊維を取りだし、糸にして布を作ります。かつて自給自足の暮らしの中で培われた手仕事の営みを体感してください。



①からむしの苧引き

7月6日(木)、7日(金) 10:00～15:30

※7日(金)は予備日

(6日で作業が終わらなかつた方、うまく苧引きができなかつた方のため)

※からむしの採集が天候に左右されるため、講座開始時間が若干変更になる場合があります。その際は、予めご連絡いたします。

★持ち物・・・スクレーパー(ホームセンターで購入できます)

②からむしを績む

10月4日(水) 10:00～15:30

7月に苧引きしたからむしを、1本の長い糸になるように、端と端をつなげます。

③からむしを編む

11月7日(火) 10:00～15:30

カラムシを編んで、布作りを体験します。

活動場所：秋田県立博物館 実験教室

服装持ち物：汚れても差し支えない服、マスク

参加費：無

その他：ご不明な点がございましたら、本教室担当までおたずね下さい。

お問い合わせ先 秋田県立博物館 TEL018-873-4121



スクレーパー

- ・プラスチックでなく、鋼100%のもの
- ・歯の幅は5cm前後がオススメ